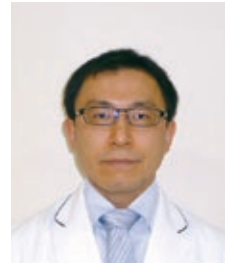


# ドクター + 教えて

## へいそくせいどうみやくこうかしょう 閉塞性動脈硬化症

磐田市立総合病院  
血管外科 科長

すぎさわ りょう た  
杉澤 良太



「歩くとき足が痛くなるが、しばらく休むとまた歩けるようになる」「足の色が悪い、足が冷たい、痺れる」。これは閉塞性動脈硬化症による症状の可能性がります。

「歩くとき足が痛くなる」といっている血管が詰まっていると、運動時に必要な血液が届かなくなり歩行障害がみられるようになります。さらに閉塞が進行し血液が届かなくなると、足が黒く変色し、腐つてしまう(壊疽)危険性があります。この場合には、足を切断しなければならぬこともあります。

タバコや高血圧・糖尿病・高脂血症・加齢により、血管壁の内側にコレステロールなどが付着し(アテローム)、血液の流れ道が狭くなります。また血管の弾力もなくなり、血液の流れが悪くなります。

これが「動脈硬化」です。動脈硬化は全身の血管に起こり、さまざまな病気の原因となります。脳へ血液を届ける頸動脈や脳動脈の硬化により「脳梗塞」が起こります。心臓の冠動脈の硬化により「狭心症」や「心筋梗塞」が起こります。そして、動脈硬化が足への動脈に及んで血流障害を起こす病気を「閉塞性動脈硬化症」といいます。

足に酸素や栄養を送っている血管が詰まっていると、運動時に必要な血液が届かなくなり歩行障害がみられるようになります。さらに閉塞が進行し血液が届かなくなると、足が黒く変色し、腐つてしまう(壊疽)危険性があります。この場合には、足を切断しなければならぬこともあります。

症状が軽い場合は、血流をよくする薬を服用し(薬物療法)、運動をして足への血流を増やす(運動療法)といった内科的治療を行います。また喫煙者であれば禁煙していただく必要があります。高血圧・高脂血症・糖尿病などの動脈硬化を進行させる因子に対する治療も重要です。症状が進行している場合は、外科的治療を行います。

「歩くとき足が痛くなる」「足の色が悪い、冷たい、痺れる」といった症状がありましたら一度血管外科を受診することをお勧めします。

「歩くとき足が痛くなる」「足の色が悪い、冷たい、痺れる」といった症状がありましたら一度血管外科を受診することをお勧めします。

## 「かかりつけ医」と

### 病院の役割分担について

磐田市立総合病院 医事課

#### 地域医療連携

現在、超高齢化の進展に対応するため、地域で必要な医療の確保が求められています。

国では、地域包括ケアシステムを構築することを通じ、医療、介護、住まい、予防、生活支援サービスが身近な地域で包括的に提供される体制整備を進めています。

#### 医療機関(病床機能)の役割分担

現在、磐田市立総合病院においても、治療からリハビリテーション、長期療養まで一貫して行う医療ではなく、入院から退院までの期間を入院時から見込み、それぞれの医療機関(病床機能)が適切な医療を行うことで、患者さんの早期の家庭・社会復帰を目指しています。

そのため、「かかりつけ医」や当院のような一般病床機能だけでなく、回復期リハビリテーション病床、療養病床など、医療機関の病床機能分化が進められています。患者さんの状態に応じて「転院」や「在宅療養」という連携が図られています。

#### かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」は、日常的な診療や健康管理などを行う身近な医師です。また、必要であれば専門医療が受けられる病院を紹介します。つまり、「かかりつけ医」と当院のような急性期病院が、紹介状(診療情報提供書)などにより患者さんの診療情報を共有し、質の高い医療を提供します。

#### 診療には紹介状が必要です

当院では、「かかりつけ医」と病院の役割を踏まえ、次の診療科では初診の患者さんが受診する際は、「かかりつけ医」からの紹介状が必要となります。また併せて予約が必要な科がありますので、ご注意ください。

#### 予約必要

精神科、神経内科、血液内科、皮膚科、泌尿器科、眼科、緩和医療科

#### 予約不要

呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、肝臓内科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科

# くらしの 田 情報